

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那地域観光戦略 ～広域 DMO にむけて～
事業主体 (連絡先)	上伊那観光連盟 (上伊那広域連合 リニア推進課 内 電話：0265-78-2500)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,923,732 円 (うち支援金： 1,538,000 円)

事業内容

- DMO検討会 (講師：清水愼一氏)
実施回数：9回/参加者：延 260名
- 周遊滞在プログラムワークショップ (講師：南雲純子氏)
実施回数：3回/参加者：延 87名
- DMO設立準備委員会
実施回数：5回/参加者：上伊那観光連盟幹事及び観光協会幹部
- DMO報告会 (アドバイザー：清水愼一氏)
実施回数：2回/参加者：延 93名
- 先進地事例研究・視察 (株式会社 阿智昼神観光局)
実施日：H29年7月14日/参加者：24名
- 上伊那地域来訪者満足度調査
実施期間：夏期(6～9月)/秋冬期(10～1月)
サンプル数：日本語版調査 400サンプル



【 DMO 検討会 】

【目標・ねらい】

- 観光地域づくりに向けた主体となる関係者の一体感醸成・合意形成
- 新組織設立時期及び組織の枠組・人材・予算等重点事項の具体的検討
- コンセプト・ターゲット等、候補法人登録申請における重点事項の検討

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりに向けて、「上伊那版地域連携DMO」が果たす役割への意識向上及び合意形成を図ることができた。
- 上伊那観光連盟の発展的解散により、平成30年10月1日に一般社団法人として新組織を立ち上げることが内定。事務局長、理事を含む人材確保や当初の市町村負担金等についても具体的な方向性が示された。
- DMO設立に向けて観光誘客の重要な要素となる上伊那のブランドコンセプトが決定。事業の柱となるテーマやターゲット層も具体化し、10月の新組織設立に向けた下地をつくることのできた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・上伊那8市町村を含む約30団体に参画いただき、上伊那版地域連携DMO設立への具体的な方向性が確認された。
- ・DMO設立が実現することで広域としてのスケールメリットが生まれ、地域の魅力や競争力の向上につなげることができる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

法人登記申請・企業会計導入・旅行業資格の取得など新組織の枠組み構築を進め、上伊那観光連盟の発展的解散による平成30年10月1日のDMO設立を目指す。

また、ブランドコンセプトやターゲットを含む重点項目の磨き上げを継続し、地域経済の活性化や持続可能な地域づくりに向けたより具体的な検討の場を展開していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある